

お客様各位

株式会社日立ソリューションズ
Palo Alto Networks 製品ユーザサポート

PAN-OS 12.2 新機能 (Default Master Key Replacement) についてのお知らせ

平素は Palo Alto Networks 製品ユーザサポートをご利用くださりまして誠にありがとうございます。
この度、Palo Alto Networks 社よりリリースされた PAN-OS 12.2.2 の新機能「Default Master Key Replacement」について、以下の通りご案内いたします。

1. 概要

Palo Alto Networks 社は、Master Key をデフォルト設定のまま継続利用することはセキュリティ上のリスクとなり得ることから、PAN-OS 12.2.2 において Master Key の設定変更を求める機能「Default Master Key Replacement」を追加しました。Master Key は設定情報に保存されている管理者パスワードや SSL 証明書の秘密鍵などの機密情報を暗号化するために使用されます。この暗号化処理は Commit 実行時に行われ、保存データの保護強化に利用されます。

PAN-OS 12.2.2 へのアップグレードをご検討の際は、以降記載の影響事項および適用条件、特記事項をご確認ください。

2. お客様への影響

対象条件に該当する機器では、Master Key の変更期限として 60 日間の猶予期間が設定されます。期限内に Master Key を変更しない場合、以下の制限が発生します。

- ・ Commit および Commit All ができない。
- ・ HA 構成における設定同期を実行できない。

なお、期限は最大 120 日まで延長可能ですが、Palo Alto Networks 社は対象機器において速やかに Master Key を変更することを推奨しています。また、Autocommit ジョブや Antivirus をはじめとする Dynamic Updates については、期限超過後も通常通り動作します。

3. Master Key の設定変更が必要となる条件

表 1 の対象機器において、対象作業のいずれかを実施した場合、実施日から 60 日以内に Master Key を変更する必要があります。

表 1 対象機器および対象作業

対象機器	PA シリーズ、Panorama、WF-500(WF-500-B 含む)
対象作業	・ 12.2.2 以降の OS へアップグレードする ・ 12.2.2 以降の OS を搭載して、工場出荷設定で起動する

4. その他特記事項

Master Key の設定変更手順については、下記メーカードキュメントをご参照ください。

同ドキュメントには Default Master Key Replacement の概要についても記載されていますので、必要に応じてご参照ください。

<https://docs.paloaltonetworks.com/ngfw/administration/certificate-management/master-key-encryption/configure-master-key#configure-the-master-key-panorama-and-pan-os>

また、以下の操作を実施した場合でも、60 日間の期限（延長時は 120 日間）はリセットされません。期限は、PAN-OS 12.2.x へ OS を変更した時点から起算されます。

- ・ PAN-OS 12.2.x から 12.2.y へ OS をアップグレードする。
- ・ PAN-OS 12.2.y から 12.2.x へ OS をダウングレードする。

Palo Alto Networks 社はベストプラクティスとして、デバイスが実行する暗号化の回数に応じて Master Key の有効期間を 2 年以下に設定し、定期的に Master Key を変更することを推奨しています。

なお、PAN-OS 12.2 に関して、弊社保守サポートでのハードウェア保守の提供開始時期は現時点では未定です。弊社保守サポートでのハードウェア保守の提供状況は、サポートサイト> ダウンロード> リリースノートに掲載しております。

以上